

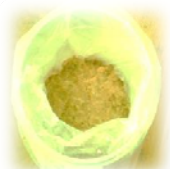
園だより 2月号

「心待ちのとき」

芝浦アイランドこども園
平成29年2月1日発行

1月初旬の小寒から「寒の入り」となり2月上旬の立春が「寒の明け」で、この30日間を「寒の内」といいます。昔からこの寒気を利用して日本では様々な保存食品を仕込んできました。発酵食品の味噌もそのひとつです。寒い季節に仕込んでゆっくりと温かな季節になるころに向けて発酵が進んで美味しいお味噌ができていきます。

先月、その日本の伝統食のお味噌づくりを、栄養士と4歳児の保育者が計画し、子どもたちによる「味噌の仕込み」を行ないました。1クラス3.5キロ、2クラスで合計7キロを仕込みました。材料は、大豆と米麹、塩とお水です。グループごとに茹でた大豆と米麹、塩を大きな袋に入れて混ぜて「おいしくな〜れ」「せ〜の」といろいろな掛け声をかけながら、みんなで「とんとん、とんとん」と手で大豆をつぶし、ペースト状にし、そこに少量の水を足しました。見学にきていた小さなお友だちも、お兄さん、お姉さんと一緒に袋の上から大豆を触ったり、たたいて参加することができました。ペースト状になったお味噌の素は、既に香しい匂いが漂っており、「おいしそう!」「なんかのにおいだ」と声が上がっていました。



そして、両手でハンバーグ状にして空気を抜き、樽に投げ入れて仕込み完了となりました。「もう終わり?」「いつたべるの?」といった質問のあとには、「お味噌は、大豆と米麹とお塩と水でできるんだね。」など、体験することで学びへと繋がったようです。

子どもたちの作った「手作り味噌」は、調理室の涼しい所で大事に保管して、11月の収穫感謝のクッキングで使う予定です。
(園長 宇野雪枝)

- 1日(水) 安全指導
- 3日(金) 豆まき
- 7日(火) 第3回評議員会
- 9日(木) 体力向上プログラム(4歳児)
- 10日(金) 英語(5歳児)
- 13日(月) カウンセリング
- 16日(木) こども園で遊ぼう・コーヒーやさん
- 18日(土) 発表会(4・5歳児)
- 21日(火) 消火避難訓練
- 23日(木) 誕生会
- 24日(金) 英語(4歳児)
- 芝浦小1年生との交流(5歳児)

クラス懇談会

- 20日(月) あひる・ペリかん
はくちょう
- 21日(火) かもめ・つる
- 22日(水) しらさぎ・ふらみんご
- 23日(木) ペんぎん・こうのとり

- 内科健診 1日(水) 0.1歳児
22日(水) 0.2歳児
- 身体測定 8日(水) 0.1.2歳児
10日(金) 3.4.5歳児

- 8日(水) 10:00~11:30 第3回子育て育児講座 「乳幼児の食事」講師: 迎しのぶ
- 1日・15日(水) 園庭開放
- 16日(木) こども園で遊ぼう

こども園の教育・保育

年長さんは、もうすぐ小学生。2月に芝浦小学校に出向き、1年生と交流します。こども園での幼児期教育を力に、小学生になることに期待と自信をもち、入学への準備をご家庭とともに行っていきたくて思っております。

①学びの自立・・・発見・考え・表現する力

興味や関心を持って意欲的に物事に関わる。自信をもって話す。イメージや言葉を豊かにする。

②生活上の自立・・・生活する力

生活上必要な習慣や技能を身につけ、自分のことを自分でする。

(自分の物の管理・把握ができる、健康で安全な生活をする。進んで運動する。)

③精神的な自立・・・かかわる力

自分のよさ、友だちのよさを認め、意欲や自信を持ちあわせていく

(挨拶がきちんとできる。きまりや約束を守る。)



2月の教育・保育目標

0歳児：シール針や積み木など、指先を使った遊びを、ゆったりとした雰囲気の中で楽しむ

わらべうたや絵本のことばを模倣し、言葉の旋律や発語することの楽しさを、保育者と一緒に感じていく

1歳児：冬の自然に触れながら散歩を楽しむ

自分の思いや欲求を身体や言葉で伝える

2歳児：冬の自然事象に興味を持ち、触れて遊ぶ

手洗い、うがいを丁寧にしようとする

3歳児：冬の自然に興味を持って触れたり、戸外で十分に身体を動かして遊ぶ

保育者に見守られ、自信をもって身の周りの事に取り組もうとする

4歳児：自分のイメージを、友だちと一緒に表現しあうことを楽しむ

みんなで一つのことに取り組む楽しさ、やり遂げた喜びを感じ合う

5歳児：友達と一緒にひとつのことに取り組み、達成感や充実感を味わう

お互いの良さを認め合い、生活に必要な力を身に付け、就学に向けての意識を高める

一時保育：体調に気を付けながら寒い冬を過ごす

行事や活動を通して友だちとの交流を楽しむ



先月の地域の親子参加の“こども園で遊ぼう”では、声優を目指している学生による「おはなし会」が開催されました。

園の子どもたちは、0歳児～2歳児と一時保育、3歳児～5歳児の2グループに分かれ参加しました。女性3人、男性2人の計5人の学生が、子どもたちのために用意した出し物を披露してくれました。「でてこい!」の紙人形劇はリクエストに応え2回行われ、手遊びは地域のお友だちもみんな大きな声で一緒に盛り上がりました。幼児さんの部では、その他に寸劇「てんぐのかくれみの」の上演が行われました。題名を聞いて「知ってる!」と何人かの声のあがりま

したが、始まるとすぐに静かに聞いていました。低く大きな天狗の声に、思わず怖くなり泣いてしまう子どもでしたが、みんな集中して楽しんでいました。これから発表会を迎える4・5歳児さんは、人の前で披露する表現方法、発声方法のお手本をみることができ、良い刺激を受けたようです。